

記入例 妻から夫に対して離婚の調停を求める場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

収入印紙 円 予納郵便切手 円		夫婦関係調停申立書 事件名 ()	
		(この欄に収入印紙1,200円分をはる。)	
		印紙 (はった印紙に押印しないでください。)	
準口頭		関連事件番号 平成 年(家)第	号
○ ○ 家庭裁判所 御中 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日		申立人の 署名押印 又は記名押印	甲野花子 (印)
添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input type="checkbox"/> 戸籍謄本(全部事項証明書) (内縁関係に関する申立ての場合は不要) <input type="checkbox"/> (年金分割の申立てが含まれている場合)年金分割のための情報通知書(各年金制度ごとに必要) <input type="checkbox"/>		
申立人	本籍	(内縁関係に関する申立ての場合は、記入する必要はありません。) ○ ○ 都道府県 ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ 番地	
	住所	〒 ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ 電話 ○ ○ (○ ○ ○ ○) ○ ○ ○ ○ ○ ○ 県 ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ 丁目 ○ 番 ○ 号 ○ ○ (○ ○ ○ ○ 方)	
相手方	呼出しのための連絡先	〒 - 電話 () () 方	
	フリガナ氏名	コウノハナコ 甲野花子 昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 平成	
相手方	職業	パート 勤務先 株式会社 ○ ○ ○	
	本籍	(内縁関係に関する申立ての場合は、記入する必要はありません。) ○ ○ 都道府県 ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ 番地	
相手方	住所	〒 ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ 電話 ○ ○ (○ ○ ○ ○) ○ ○ ○ ○ ○ ○ 県 ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ 丁目 ○ 番 ○ 号 ○ ○ (○ ○ ○ ○ 方)	
	呼出しのための連絡先	〒 - 電話 () () 方	
相手方	フリガナ氏名	コウノタロウ 甲野太郎 昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 平成	
	職業	会社員 勤務先 ○ ○ 株式会社	

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください。(携帯電話でも構いません。)

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

住所で確実に連絡できるときは記入しないでください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。

相手方から支払ってほしいときには、その金額を記入してください。
金額がはっきりしないときは、「相当額」と記入してください。

申 立 て の 趣 旨	
円 満 調 整	夫 婦 関 係 解 消
※ 1 申立人と相手方間の婚姻関係を円満に調整する。 2 申立人と相手方間の内縁関係を円満に調整する。 3 相手方は、申立人と同居する。 4 相手方は、申立人に夫婦関係を維持するための生活費として、毎月金 円を支払う。 5	※ ① 申立人と相手方は離婚する。 2 申立人と相手方は内縁関係を解消する。 (付随申立て) ① 未成年の子の親権者を次のように定める。 については父。 長男一郎、二男次郎 については母。 ② 相手方は、申立人に未成年の子の養育費として、1人当たり毎月金 円を支払う。 ③ 相手方は、申立人に財産分与として、金 円を支払う。 ④ 相手方は、申立人に慰謝料として、金 円を支払う。 ⑤ 申立人と相手方との間の別紙 (年金分割のための情報通知書) 記載の情報に係る年金分割についての請求すべき按分割合を、 <input checked="" type="checkbox"/> 0.5 <input type="checkbox"/> () と定める。 (6)

※ 当てはまる番号を○で囲んでください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。

申 立 て の 実 情	
同居を始めた日..... 昭和 平成	年 月 日 別居をした日.....平成 年 月 日
(夫婦関係が不和となった事情、その後のいきさつなどを簡単に記入してください。)	
1. 相手方は、平成〇年春ごろから、取引先の女性と親しくなって外泊しがちとなり、昨年1月ごろに、アパートを借りて同棲生活を始めました。 2. 申立人は、子どももいるので戻ってほしいと思って何度も話し合おうとしましたが、相手方が話し合いに応じないので、この際、離婚したいと思います。	
(特に希望したいことなどがあったら記入してください。)	

申 立 て の 動 機			
※	1 性格があわない	② 異性関係	3 暴力をふるう
	5 性的不調和	6 浪費する	7 異常性格
	9 精神的に虐待する	⑩ 家族をすててかえりみない	11 家族と折合いが悪い
	12 同居に応じない	⑬ 生活費を渡さない	14 その他

(注) 太枠の中だけ記入してください。※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、そのうち最も重要と思うものに◎を付けてください。

夫婦 (2/2)

(※1) 申立てに係る「年金分割のための情報通知書」の通数に応じて、「1」、「1, 2」、・・・等と記入してください。

裁判所に提出する情報通知書には、表面右上に「別紙1」、「別紙2」、・・・等と番号を付してください。

(※2) 按分割合(分割割合)を上限で定めることを求めるときは、「□0.5」の□にチェックしてください。

それ未満の割合を定めることを求めるときは、「□()」の□にチェックし、()に具体的な按分割合を記入してください。

同居、別居をくりかえしているときは、一番最後の別居の日を記入してください。

夫婦が初めて同居した日を記入してください。

(※1)
(※2)